



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2019年8月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(YMCA561)5217

札幌クラブ

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

CS (Community Service・地域社会奉仕)

— 主 題 —

国際会長	「Building today for a better future」	Jennifer Jones (オーストラリア)
アジア会長	「Action」 (アクション)	田中 博之 (東日本)
東日本区理事	「勇気ある変革 愛ある行動」	山田 敏明 (十勝)
北海道部部长	「日々新たな者としてYMCAと共に歩もう」	宮崎 善昭 (北見)
札幌クラブ会長	「手を取り合って」 (Let Us Cling Together)	伏木 康 (札幌)

札幌クラブ役員

会長	伏木 康
書記	柴田 伸俊
会計	秋葉 聡志
直前会長	柴田 伸俊

今月の聖句

だれも、二人の主人に仕えることはできない。一報をにくんで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなた方は神と富とに仕えることはできない。 マタイによる福音書 6章 24節 宮崎 善昭選

2019年アジア大会報告

札幌クラブ直前会長 柴田伸俊



7月19～21日第28回アジア太平洋地域大会が729名の国内外の参加者を集め、山田敏明実行委員長を筆頭に地元ワイズの温かい歓迎を受け、仙台国際センターで盛会に行われました。札幌クラブからは伏木康、秋葉聡志、柴田伸俊3名の参加です。

「Action! 前に進もう」をテーマに、①東日本大震災後の「復興」を確認する。②今後の「防災」について学ぶ。③ワイズで最も大事な「交流」をする。の3つが大会キーワードです。平和七夕の手作り千羽鶴「ノーモアヒロシマ・ナガサキ」が参加者に配られ幕を開けました。国際会長就任式の後、一般公開講演会は村井嘉浩宮城県知事の「震災後8年を経て」、国東信江氏の「あなたと子どもを災害から守る方法」を聞き防災の再認

識と、特に防災ベストは早速準備したいと思いました。2日目のエクスカージョンはコース②の南三陸～石巻大川小学校～石巻(津波の現実と復興を知るコース)を選びました。個人的には震災後3年間は「希望の風揚げ」に関わってはいましたが、現地に訪れる機会もなく念願の訪問でした。特に車中のDVD「テラー・アンダーソンさん物語」と大川小学校での被災者当時6年生のお父さんご本人の語り部には考えさせられるものがありました。やはり自分の目で見て耳で聞くことは大事だなとの思いと、何かをクラブに持ち帰りたい思いでした。その夜の晩餐会ではユースと一緒に楽しい食事会で、北海道から派遣された杉山くんや重堂さんにねぎらいの言葉を掛けました。



写真左: 語り部の佐藤さん。大川小学校の教員をさせていただきましたが卒業式3日前に被災に遭い当時6年生だった娘さんを亡くされました。退職され、津波を語り伝えています。写真上: 大川小学校。教室と体育館をつなぐ渡り廊下。8年前に大きな津波が襲いました。ねじれ崩壊したまま保存されています。

2019年6月例会
出席報告

在籍会員 8名	例会出席 8名	メネット 0名	コメント 0名	メーキアッパ 0名
ゲスト 1名	ビジター 0名	計 9名	出席率 100%	

札幌ワイズメンズクラブ 2019年8月オープン例会

日時： 2019年8月20日(火) 18:30~20:30

場所： ^{ほうへいかん}豊平館(国指定重要文化財)

札幌市中央区中島公園 1-20

会費： 1,000円(会場費、軽食)

ユース(35歳未満)は無料

プログラム

司会 柴田 伸俊

『わせねでや』

(東北の言葉で「わすれないで」)

第一部 テイラー・アンダーソンさん物語

2008年8月から津波で亡くなるまで石巻市で子供を中心に英語を指導していた彼女のDVDをご覧ください。

第二部 KIBOTCHA(キボッチャ)での

ユース・コンボケーション参加報告

4泊5日、東松島野蒜(のびる)で廃校後、防災体験型学習施設に改装されたアジア太英語YMCA・コミュニケーション専門学校学生の報告です。

第三部 3.11大震災を振り返る

残り時間で参加者のフリートーク

⑧ 閉会挨拶 会長 伏木 康

何故この聖句を 北海道部長 宮崎 善昭

私たちの価値観は、順番、効率、多少など経済原則にあまりにも偏りすぎているように思います。本当の豊かさとは、足るを知ってその中で日々満足し、感謝して生きることではないかと思えます。

テイラー・アンダーソン



米国バージニア州出身。小学生の頃から日本に興味を持ち日本語を学び始めた。大学卒業後、小中学生に英語を教える先生として日本へ……。テイラーさんは、保護者が迎えに来るまで子どもたちの傍を離れませんでした。まさに命がけで、子どもたちを守ったテイラーさんを顕彰して今「テイラー・アンダーソン奨学金」「文庫」が設けられています。

札幌ワイズメンズクラブ7月月務会

日時： 2019年7月23日(火) 19:30~

場所： 北海道 YMCA 総主事室

出席者： 柴田、宮崎、伏木、中田、秋葉、北川、

1. 8月例会、巻頭言、聖句

オープン例会 アジア大会報告会「わせねでや」

日時： 2019年8月20日(火)18:30~20:30

場所： 豊平館(中島公園) 1F 芙蓉の間

第一部 テイラー・アンダーソンさん物語・10分

第二部 KIBOTCHA でのユース・コンボケーション報告・・・30分

杉山寿大 「アジア大会に参加して・・・」

第三部 3.11の大震災を振り返る(語る人募集中)

(or 伏木、秋葉、柴田の大会参加者の感想)

案内チラシ: オープン例会なので外部にも分かり易い内容に作り変える。→伏木会長

例会形式: オープン例会のため万国旗のみを飾り、点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、聖句はカット。プロジェクター(YMCA)持ち込みする

会費: (会場費・軽食) ¥2,000

ユース・職員 無料

出席希望者はYMCA北川までの連絡とする。

弁当: 持ち込み可能だが何時入れるか課題有り

誕生日、結婚記念日: 誕生日 8月27日

結婚記念日 なし

巻頭言: 柴田 **聖句:** 宮崎

2. クラブ会計(2018~2019)別紙で了承

3. 北海道部(宮崎次期部長)に関して

7月末か8月上旬に部会第2報配信

三役会 議 8月5日(月) 18:30~総主事室

4. 8月事務会

日時： 2019年8月27日(木) 19:00~

5. チャリティーコンサート

会場を時計台に戻し、伏木会長と安田会員で今後進める。

6. 全道サッカー大会 9月8日(日)

ワイズコーヒーコーナー実施

7. その他

▼ 9月東日本区 YVLF への派遣ユース人選中

▼ 9月例会 9月17日(火) 卓話者候補 山中湖出席ユースが候補。

▼ 9月事務会 9月24日(火)

▼ 2020年1月12日(日) 札幌・札幌北合同例会決定(担当:札幌北)

▼ 台中周年行事予定 2020年2月27日

2月26日~2月28日に札幌クラブで今後計画する。

札幌ワイズメンズクラブ7月例会



期初の例会は、会員全員が顔を揃えました。ゲストスピーカーを呼ばず、各人が近況を報告する例会にしました。安田文子会員から8月28日に開く、ピアノ演奏会の案内がありました。(ページ下参照)

札幌クラブの伝統行事、時計台ホールでのチャリティコンサートをしばらく開催していなかったため、今年度は実施しようということになりました、「手を取りあって」という主題ですが、私が昨年暮れにヒッ



トした映画「ボヘミアンラプソディー」を見た後、昔のクイーンの曲を収録したアルバム「JEWELS」「JEWELS II」をよく聞いていて、最後に収録されていた曲のタイトルが「Teo Torriatte」でした。昔はほとんど聞き流していたのですが、昨年来聞きなおすとサビの一部に日本語が使われていて繰り返し聞くうちに、響いてくるものがあり主題に採用させていただきました。

また、今年度は移動例会を行いたいと提案させていただき、早速8月例会が豊平館で行うことになりました。

左写真

前列左から、柴田、宮崎、伏木、安田、
後列左から、中田、秋葉、佐藤、小野、北川



やすだ あやこ ショパンへの旅
安田 文子 ピアノ&トーク コンサート
Ayako Yasuda Chopin Piano & Talk Concert

安田 文子 ピアノ Ayako Yasuda

札幌市出身。7歳より遠藤道子氏の指導を始める。東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。ポーランドのワルシャワに留学し、ポーランドワルシャワショパン音楽院にてディプロマ取得。国立放送交響楽団、ポーランドクラコフ交響楽団等と共演。
「ショパン」誌では、「意味ある音色がどれほどその美しさに包まれていたのが安田文子のリサイタルだった」と評される。
札幌市民ロビーコンサート、夢夢コンサート、各地の病院、福祉施設でのコンサートなど、音楽を身近に観しめる機会を提供している。



札幌クラブ安田文子会員が8月28日コンサートを開きます。札幌にご親戚、友人、知人がおりの片はぜひご協力ください。札幌クラブ

8月28日に、新しくできました札幌文化芸術劇場 hitaru 3F のクリエイティブスタジオにて「ショパンへの旅」と題し日本・ポーランド国交樹立100周年で記念のピアノコンサートを行います。

昼と夜の2回公演で、それぞれ異なるプログラムでバラード、マズルカ、ポロネーズ、ノクターンなどの珠玉の名曲を演奏します。夏の終わりにポーランドに関するお話と共に、ショパンの音楽を楽しんでいただければ幸いです。

札幌ワイズメンズクラブ 安田文子

安田文子プロフィール

札幌市出身。東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。ポーランド国立ワルシャワショパン音楽院にてディプロマ取得。モスクワ音楽院大学院を修了。ポーランド国立放送交響楽団はじめ多くの海外、国内交響楽団と共演する。高円宮同妃両殿下ポーランドにご訪問の御前にて演奏。

「ショパン」誌では、「意味ある音色がどれほど美しく、どれほど説得力を持って響くか。まさにその美しさに包まれていたのが安田文子のリサイタルだった」と評される。

2019年 8月28日(水) 昼公演 開演15:00 (開場14:30)
夜公演 開演19:00 (開場18:30)

札幌文化芸術劇場 hitaru 3F クリエイティブスタジオ

(札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市営地下鉄「大通」駅 西2丁目地下歩道直結)

昼公演

ピアノの詩人ショパン
開演15:00 (開場14:30)



全席自由
大人 1,500円
子供 (小学生まで) 1,000円

program
ノクターン第2番 2つのノクターン Op.48
幻想即興曲 子犬のワルツ 英雄ポロネーズ
アレグロ・ド・コンセル イ長調 Op.46
バラード 第1番 ト短調 Op.23 他

チケット取扱所

札幌市民交流プラザチケットセンター TEL: 0570-00-3871
道新プレイガイド TEL: 0570-00-3871
教文プレイガイド TEL: 011-271-3355



オンラインチケット <https://tiget.net/events/53957>

後援 札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社

夜公演

ショパンとポーランド
開演19:00 (開場18:30)

全席自由 1,500円

program
ノクターン 第20番 嬰ハ短調 創作
「レント・コン・グラン・エスプレッシオーネ」
マズルカ op.6 2つのポロネーズ op.26
ロンド ハ短調 Op.1 革命のエチュード
バラード 第1番 ト短調 Op.23
英雄ポロネーズ 他

主催・お問い合わせ

ポーランド研究会
TEL: 050-5899-5300 FAX: 050-1324-6378
E-mail: poland@ayakoyasuda.net
ホームページ ayakoyasuda.net
fb.com/ayakoyasudachopin



YMCA ニュース

担当主事 北川 佳治

チミケップ ワーク

北海道部長 宮崎 善昭

① ベトナムボランティアワークの旅(報告)

第24回ベトナムボランティアワークの旅が8月7日(水)～17日(土)までベトナム・ベンチュエ省で行われ、ボランティア・YMCAスタッフ計10名が参加しました。

今年教室を建設する場所は、メコンデルタ地域で、ホーチミンから約4km離れた場所にあり現地では壁・窓枠・扉などのペンキ塗りを中心としたワークの他、ホームビジットも行いました。

② リーダートレーニング(報告)

2019年7月13日(土)～15日(月)【2泊3日】で北海道YMCAチミケップ国際キャンプ場にて札幌、北見、台湾、アメリカのリーダーとスタッフ計20名でリーダートレーニングを行いました。

チミケップの歴史についてマイクさんからお話しして頂いたり、キャンプの組織理解やプログラム立案を学んだり、オーバーナイトの企画を体験したりと有意義なひと時をもつことができました。

また、最終日にはキャンプに関わって環境教育について学び、沢の水を飲み水に変える研究も行いました。リーダー達には、この3日間を通して得られた学びを、夏にキャンプメンバーと共に成長する糧にしてほしいと思います。



③ 札幌ランチ会館検討委員会(予告)

8月31日(土)、今年度2回目の札幌ランチ会館検討委員会が開催されます。今回は教育センターについての検討、協議となります。

④ YMCA 全道サッカー大会(予告)

昨年は北海道胆振東部地震の為に中止となりましたが、今年は来る9月8日(日)に札幌・北見・帯広3支部合同のYMCA全道サッカー大会を、札幌市の農試公園ツインキャップにて開催致します。

北海道YMCA全支部のメンバー・スタッフが一堂に集い、ワイズメンズクラブ北海道部のご支援をいただきながら執り行う貴重なイベントとなります。メンバーの良き思い出と成長につながるよう担当全スタッフ力を合わせて準備を進めています。



7月13日(土) 北海道部恒例のチミケップキャンプ場整備のためのワークが行なわれました。広い北海道部では、なかなか札幌、帯広、北見のクラブのメンバー交流ができないということがあり、年一回くらいは北海道部としてあつまって何かしたいという思いがあり、数年前から始まっております。今年は、札幌から4名、十勝から3名、北見から1名計8名が集まり、雨天にも関わらず合間を縫ってワークを行ないました。このワークの内容は、運んできた土砂でキャンプの低い場所を埋める土木作業でした。毎年ワークに参加してくれるリーダーOBの植田さんが北見YMCAからお借りしている除雪用重機(?)を操り運んできた土砂を7

名(8名なのに、車で寝の中で倒れていた人が若干1名)がスコップで平らに均していく作業を行ないました。例年なら一泊二日で行ないますが、仕事の都合で日帰りのワークになりました。

札幌からは往復10時間、ワーク賞味時間4時間で、もっぱら移動時間を過ごしましたが、北見や十勝のメンバーと和気藹々冗談と駄洒落を飛ばしながらの交わりの時間は移動時間に勝って余りある貴重なものだと感じました。札幌からリーダートレーニングの一環で夕方にリーダーが到着し、一気にキャンプ場が若者たちの場になりました。

「老兵は消え去るのみ」というわけではありませんが、リーダー到着を見届けて、チミケップキャンプ場を後にしました。帰りは、いささか冒険し、所要時間4時間10分でした。

緊張感のあまり眠気を催す暇もありませんでした。みなさん、スピードはどうぞ控えめに。



ワイスの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。